週間天気予報解説資料

2026年11月3日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月4日から11月10日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・台風第31号については最新の台風予報を参照。
・6日は、低気圧が発達しながら千島近海へ進む。大陸の高気圧が西日本付近に張り出す。
・7日は、発達した低気圧がオホーツク海を東へ進み、高気圧が朝鮮半島の北に移動する。北日本を中心に冬型の気圧配置が強まる。
・8日は、高気圧の一部が移動性となり日本の東へ移動する。
・9日は、気圧の谷が日本付近を通過する。
・10日は、高気圧が華中東岸に移動し日本付近に張り出す。

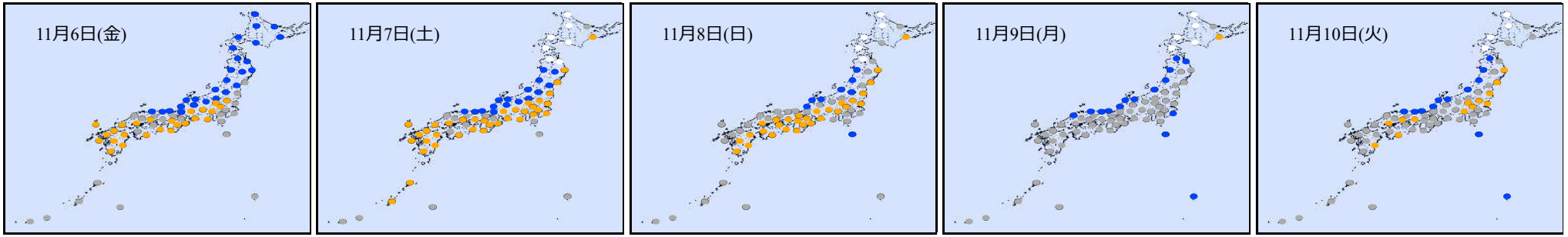
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・6日から7日頃にかけては、発達する低気圧の影響で北日本を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達の程度等によっては、大荒れや大しけ、警報級の大雪となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

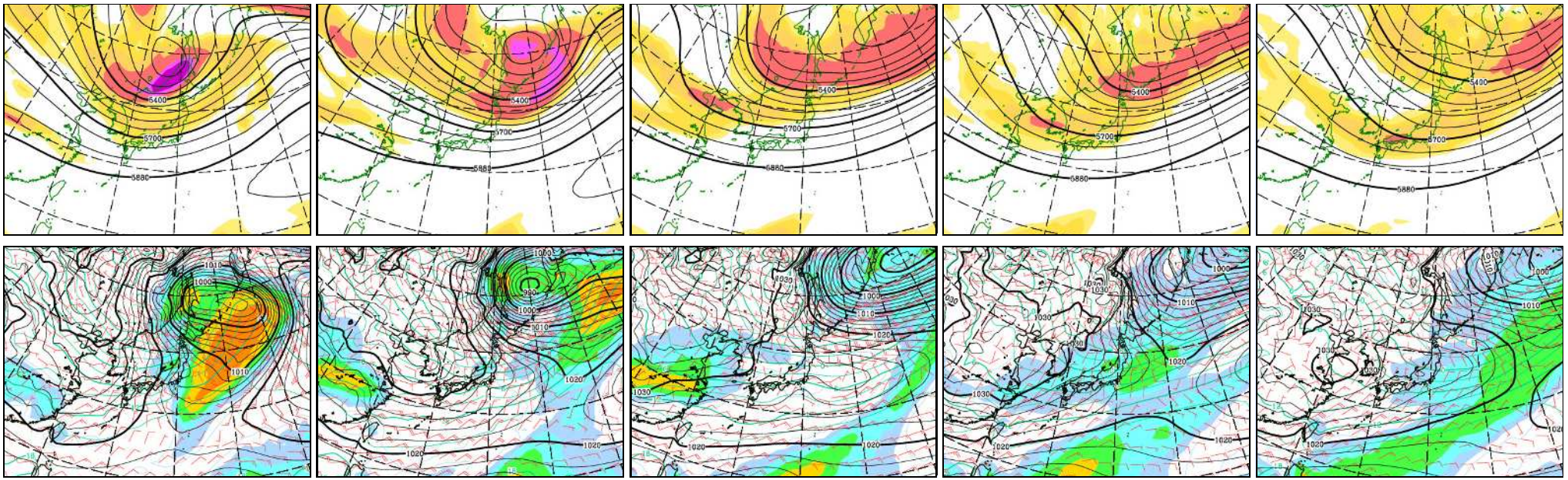
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



・北日本と東日本から西日本の日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
・東日本から西日本の太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多いが、雨の降る所がある。
・沖縄・奄美は、曇りまたは晴れる日が多い。

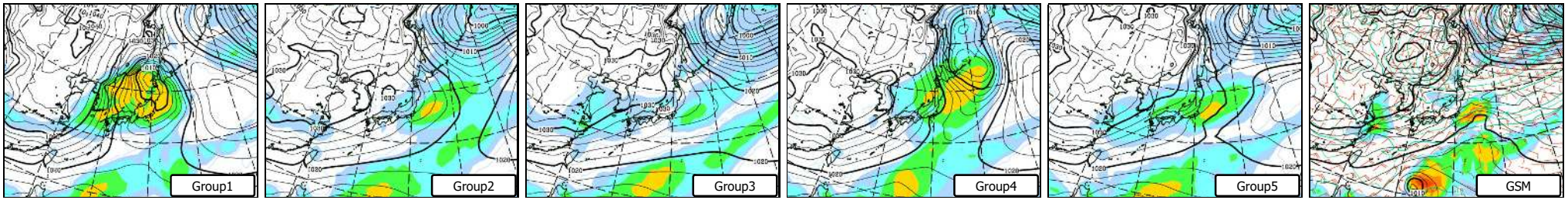
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月6日(金)　11月7日(土)　11月8日(日)　11月9日(月)　11月10日(火)



渦度(10^{-6}/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆11月9日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、6日に千島近海へ進む低気圧の勢力が強まり、大陸の高気圧の日本付近への張り出しも7日にかけて強まった。
・9日に日本付近を通過する気圧の谷は、モデル間のばらつきがある。
・スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。